

人にやさしく！

校長 新居崎 杉彦

ご家庭でも「話し合い活動」を！

いよいよ秋も深まり、夜寒を感じる季節となりました。今、各学級では、11月18日開催の「なかよし集会」に向けて、話し合い活動等に取り組んでいます。今年の「なかよし集会」は、新型コロナウイルス感染症の影響で、体育館での発表を変更して各学級でビデオ発表をすることになりましたが、保護者の皆様にも見ていただける方法を考えています。今後も、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

さて、今回のテーマは「話し合い活動」です。「話し合い活動」と言えば、学級会で子どもたちが話し合って何かを決めるというイメージがあると思いますが、今回は家庭での「話し合い活動」についてです。保護者の皆様は、ご家庭で子どもと「話し合い活動」をされていますか。そんなに形式的ではないけれど、いつも子どもの声には耳を傾けているよという方が大半だと思います。しかし、知らず知らずのうちにお父さんやお母さんの考えを押しついたり、子どもの声にふたをしったりということはありませんか。保護者のみなさんにとっては、今、子どもたちが過ごしている時期は、自分がすでに経験してきた過去のことです。それゆえ、自分たちの過去の成功や失敗を振り返って「こうする方がいいんだ」と思い、子どもに一方的に示唆することはありませんか。また、子どもにきちんと説明せずに、「とにかくこうしなさい」と説明不足になっていることはありませんか。

子どもは、親心も知らず、「自分の思うようにして、失敗して気がつくほうがいい」と思っているかもしれません。また、「本当に失敗するのか」と疑問に思っているかもしれません。「もっと理由をきちんと説明してほしい」と心から願っているのかもしれません。子どもの言うことが、よほど現実的でなければしかたありませんが、「～だから、～してほしい」のように、子どもが理由を明確にして話をしてきた場合は、頭ごなしではなく、親が分かりやすく丁寧に説明して応えてあげることが、子どもにとってとても重要なことだと思います。自分の思いを相手に伝えることは、子どもだけでなく大人になっても大切ですし、そのスキルは何回も繰り返すトレーニングによって培われます。「親の言うことをただ素直に聞いている」だけでは、このような力は育ちにくいものです。なぜかという、理由を明確にして説明する力は、意識的に育てようと思わなければ育たないからです。

このような「理由をつけて、自分の思いを相手に伝える」、また「相手の思いをしっかり聞く」という力を身につけるためにも、家族間で「話し合い活動」をおこなってみてはいかがでしょうか。よく保護者から相談される内容に、「うちの子は親のいうことを聞かない」や「うちの子はゲームばかりして困る」というものがありますが、これらは「話し合い活動」によって、親と子の双方向の流れができれば解消されるきっかけになるかもしれません。親と子が、今まで近すぎてお互いに言えなかったことを「話し合い」によって相手に気持ちを伝えることで、お互いにすっきりすることも少なくないと思います。

本校では、今後も子どもたちの自主・自立を促し、伝え合う力の育成を目指して「話し合い活動」に力を注いでいこうと考えています。ご家庭でも、ぜひ「話し合い活動」を推進してほしいと思います。



秋の校外学習

10月の校外学習で、1・2年生は石上神宮へ、3・4年生は天理観光農園へ社会見学に行きました。5年生は、今日シャープミュージアムに行く予定です。どの学年も天候に恵まれ、予定通りの行程で実施することができました。今年は新型コロナウイルス感染症予防のため、バスを利用せず、目的地まで歩いていきました。子どもたちは、いつもの社会見学よりもたくさん歩いてよく頑張ったと思います。また、それぞれの学年では、友達との絆を深め、思い出に残る一日となりました。

今後も、このような体験を学校生活やなかまづくりに生かしていきたいと思っています。

5年生 稲刈り

10月27日火曜日に、5年生は田町の藤林さんの田んぼで「稲刈り体験」をさせていただきました。先週末の雨で、田んぼは少しぬかるんでいましたが、みんなで協力してすべての稲を刈ることができました。当日は、藤林さんや大和平野土地改良区の職員の方、4Hクラブの吉本さんから指導していただきました。また、保護者の皆様も多数ご参観いただきありがとうございました。子どもたちには、実体験を通して農業を学び、大変貴重な経験となりました。今は、米作りもすべて機械でおこなうようになりましたが、子どもたちの農業体験のために多くの方々にご協力していただき感謝しています。ありがとうございました。

